事業者向け　**放課後等デイサービス自己評価表**

社会福祉法人　大樹会
どんぐりひろば
H31.2月現在

区分		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			事業所の総面積は概ね120㎡の広さがあります。学びの部屋、デイルーム、遊びの部屋、休養室とご利用者の思いや用途に分け、使用しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			(1月時点)保育士、児童指導員、介護福祉士を常勤で4名配置しております。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	事業所が二階ということで安全な対応を心掛けております。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			半年に一度,当法人が実施しているDOCAP(Do Check Action Plan)評価において日々研鑽に努めております。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			年に一度保護者用アンケートを実施し、保護者様の意向を把握し、支援の見直しに活用しております。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			本年度よりHPにて公開しております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在は事業所内にて評価を行い日々課題改善に努めておりますが、本部との協議を行い必要であれば、実施することとします。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定期的に園内研修を実施しております。また外部研修においても、業務内で積極的に参加することに努めております。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			面談や日々の連絡により保護者様のニーズを把握し、ご利用者のニーズと合わせて事業所内にてケース会議を行い個別支援計画、及び日々の支援活動に活用しております。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	ご利用者の発達状況については日々の支援を通じて把握するよう努めております。また机上での個別課題のヒントとしてNCプログラムを使用することもあります。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			個別支援計画に基づき、日々のリーダーが活動プログラムの立案しております。またミーティングにより職員全体の意見を通して活動に取り組んでおります。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			ご利用者の年齢や課題、利用時間等により適宜変更しております。また季節の行事やご利用者からの意見も参考に活動を立案しております。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			利用時間によって課題や取り組みを日々設定しております。特に長期休暇時には長い利用時間を利用し、その時期にしかできない取り組みを実施できるよう努めております。

区分		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			ご利用者の状況と保護者様の要望を把握した上で児童発達管理責任者を基に、職員全体で個別活動と、集団活動のバランスを考え計画を作成しております。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前にミーティングを行い、前日からの振り返りを含めて、職員全体で利用者の日々の状況や課題を共有しております。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			送迎終了後、勤務時間内に申し送りを行うことはありますが、概ね翌日に支援の振り返りをふまえた報告をしております。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の支援内容、ご利用者の様子等を記録し、職員間で共有を図っております。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年毎に計画の見直しを実施しております。また時期に関わらず必要に応じて、保護者様との面談を行い計画を変更することもできます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			ガイドラインの総則で示されている、4項目を組み合わせて支援を実施しております。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			相談支援事業所と連携を図り、適宜会議を実施しております。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			年間計画、連絡調整等、学校との情報共有を行っております。また保護者様の了承のもとご利用者の日々の様子や課題を共有し、アドバイスを頂くこともあります。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			医療ケアが必要なご利用者に対し、主治医の意見書を頂いております。緊急時の対応、救急車搬送の目安等を全職員で周知しております。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			当事業所を利用前に保育所や児童発達支援事業所の見学を行い、情報を入手し、個別支援計画の作成に活用しております。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	平成31年度から実施を予定しております。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	現在、特定の機関と連携はしておりませんが、研修に関しては同市内に関わらず参加しております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			当法人の運営する放課後児童クラブと交流することがあります。

区分		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	当市には自立支援協議会の専門部会に障がい児を対象するものがないと認識しており、専門部会が設置されましたら参加したいと考えております。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			日々の支援内容や様子等を、口頭でお伝えする他毎月のおたよりを個別に書き、お渡ししております。また必要時には報告書を作成する、希望者には連絡ノートを利用する等の工夫も行っております。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っているか			○	保護者様に向けてのペアレント・トレーニングは実施しておりませんが、ご利用時の様子をお伝えする中で対応についてアドバイスができるよう心掛けております。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に詳細を説明しております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者様から相談があった場合には最優先で対応することにしております。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			“どんぐりCafé”という親子交流行事を開催し、保護者様同士の連携を支援しております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情があった場合には、詳細を確認し、迅速かつ適切に対応しております。また本部に報告し、再発防止の対応を考えます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月一回どんぐりだよりを発行し、様々な情報をお伝えしております。HPのブログにつきましても、保護者様の了承のもと掲載しております。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			職員個人の守秘義務の順守については就業規則に定め、入社時に誓約書の提出を義務付けております。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			分かりやすい説明や連絡手段を考慮し、個別に対応しております。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			地域の高齢者施設との交流行事を実施しております。また公園や商店に外出するなど日常的にも地域に溶け込むことを心掛けております。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		保護者様には緊急時の連絡体制についての説明、了承を得ることに努めております。また職員には緊急時マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し周知しております。

区分		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的に火災、地震に備えた避難訓練を実施しております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			研修に参加し全職員に伝達しております。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			現在該当するご利用者はおりませんが、今後に必要であれば本部と協議し、保護者様の同意のもと対応を考慮します。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			利用開始の際、保護者様からアレルギーについて確認し、注意を払っていますが、現在食物アレルギーのご利用者はおられません。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			危険だと感じたことがある場合、ヒヤリハットや報告書を作成し、本部へ連絡し、その対策に努めております。またその内容については職員全体で協議しております。

どんぐりひろば　放課後等デイサービス保護者向け評価アンケート結果

平成30年11月初旬にどんぐりひろば　放課後等デイサービスの評価アンケートを実施いたしました。14世帯中13名の保護者様よりご回答をいただきました。ありがとうございます。心よりお礼申し上げます。

さっそくですが、その集計ができましたのでご報告申し上げます。いただいたご意見を職員間で共有し、よりよい事業所を目指して、随時対応策を講じて参ります。今後とも何かしら気になる点やご要望、またご相談がございましたら、どうぞ遠慮なくお申し出ください。今後ともどんぐりひろばの活動にご理解、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

社会福祉法人　大樹会　理事長　大橋　正一

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	回答なし	ご意見
環境・体制設備	①	お子さまの活動スペースが十分に確保されていると思われますか。	11	2			・静かに過ごせる場所がいつもでなくてよいのであるといいと思う。 ⇒お子さまの体調や、気分によって使用していただく休養室というスペースを準備しております。今後も友だちや職員との関わりや小集団での社会性の成長を大切にしながらも必要時には使用していく方針にあります。保護者の方々にもご理解いただけるよう説明等の配慮を心掛けて参りたいと思います。
	②	職員の配置数や専門性は適切だと思われますか。	12	1			・職員の数が不明 ⇒現在、管理者、児童発達支援管理責任者、支援員の合計５名を配置しております。 また介護支援専門員、介護福祉士、保育士、教員免許等の福祉、教育系専門資格を有する職員がおります。また資格取得に限定せず、定期的に研修を受け個々の職員のレベルアップを引き続き推進していきます。
適切な支援の提供	③	お子さまと保護者の希望や課題をよく理解した上で個別の支援計画が作成されていると思われますか。	13				・好きな事、得意な事を取り入れながらも苦手な事を工夫しながら伸ばせるように考えて頂いていると思う。 ⇒個別支援計画は相談支援事業所とも連携し原則として6か月に一度ケース会議を行い立案しております。また必要に応じて変更もしております。夏休み等の長期休暇時にはこの期間でしかできない療育を実施しております。
	④	活動プログラムが固定されないように工夫されていると思われますか。	13				
保護者への説明	⑤	支援の内容、利用者負担等について、ていねいな説明がされていますか	13				⇒長期休暇時の諸費についてはお子さまの体調や都合に合わせ日によりスケジュールを変更する可能性もあり、予定は立てているものの混乱を防ぐ為、前日からのスケジュールを提示していない点から内訳等の説明が後日になっていることをご了承ください。今後、予定変更も含めてご説明に努めて参ります。
	⑥	長期休暇時の昼食代、諸費についてご理解いただけていますか。	13				

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	回答なし	ご意見
保護者への説明	⑦	日頃からお子さまの状況を保護者と話し合い、お子さまの発達の状況や課題について共通理解ができていますか。	11	2			・もう少しゆっくりお話ができる時間があればいいと思う。 ・時々お話させて頂くが細かくはなかなか理解しあえているとは言えないかもしれないが特に問題はなく、より話せるといいと思う。 ⇒私どもの方も保護者の皆さまとより多くのお話しをする時間を持ち、お子さまへの思いを共有し、普段の療育に活かしたいと常から感じております。時間の都合上送迎時での対応は難しいとは思いますが、ご相談や参観等はいつでも承りますのでどうぞ遠慮なくお申し出ください。また普段都合により祖父母様方へお送りすることにより直接お会いできないケースもあります。誰もがお時間がある時に気軽に寄って頂ける場所作りを検討しております。
保護者への説明	⑧	保護者に対して面談や、子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	1			⑦と同様
保護者への説明	⑨	お子さまや保護者の苦情に迅速かつ適切に対応していますか。	8	3		2	⇒苦情や事故が全くないということはありませんが、いただいた苦情や発生した事故についてはその都度適切に対応、改善するよう努め、その連絡等は個人情報取り扱いの観点から該当する保護者方々にのみ行っております。そのため「どちらともいえない」「無回答」との評価がみられるように認識しております。今後ケースごとに検討し、必要があれば皆さまにご報告させていただきたいと思います。何かお困りごとや気になっていることがある場合には遠慮なくお申し出ください。
保護者への説明	⑩	お子さまや保護者に定期的におたよりやホームページ等で活動の内容をお知らせしていますが充分だと思われますか。	9	2		2	⇒現在、長期休暇時以外は毎月一回におたよりを配布し、大樹会ホームページ内のブログも常々更新しております。ぜひご覧ください。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	回答なし	ご意見
満足度	⑪	お子さまはどんぐりひろばに行くのを楽しみにしていますか	13				・毎回うれしそうに帰宅し、帰宅後も機嫌よく過ごせているのでありがたい。 ・概ね喜んで行っているものの大きな声が苦手なこともあり、帰宅後心の状態が不安定になることがある。静かに過ごせる環境がたまにあるとよいと思う。 ⇒突発的な大きな声が聞かれる場面があることを認識しております。その都度対応させて頂いておりますが、集団療育上全てを遮断することは難しいと思われますが①でお答えした休養室を使用することも含め自分にとって苦手な場面に対応、回避する（要望する）力も重ねて成長につなげていく等今後とも努力していきたいと思います。 療育は必ずしも楽しいことばかりではありませんが、私どもはお子さまの笑顔や達成感、成功体験を大切に一人ひとりに合った課題に向かって日々活動を提案しております。今後ともお子さまのご様子を敏感に受け止め、対処していける事業所でありたいと考えております。ご帰宅後のお子さまの様子で気になることがありましたらご連絡ください。
	⑫	事業所の支援に満足していますか	13				・お迎えの時間等に配慮してもらいありがたいと思っている。 ・たくさんいろいろな場所につれていってもらい、とても楽しそうなのでこちらもうれしい。 ・体験型の支援（バスを利用して買い物へ行く）をしていただき本人にとっても良いことだと思う。 ⇒お子さまや、保護者の方々からの要望を柔軟に受けとめ、お子さま一人ひとりのより良い将来にむかい支援を考え実施するよう心掛けております。今後ともこの姿勢を崩さず皆さまに満足していただけるよう努めて参ります。
その他	⑬	保護者との行事（どんぐりCafé）に参加を希望されますか。またどんな内容を望まれますか。	5	7		1	・普段の様子が分かるようなイベント（どんぐりひろばでの親子交流等）また親子でお出かけできる内容の行事があればよいと思う。 ・日時が合えば参加したい。また勉強会や施設見学を実施してもらいたい。 ・DVD（思い出スライドショー）を見せてもらったのはとてもよかった。 ・参加したいがなかなか折り合いがつかないことが多い。 ⇒どんぐりCafé等の開催につきまして共働きされている、時間、都合が合わない為、参加人数が少ない現状ですが、ご要望がある以上は今後とも提案、検討させていただきたいと思います。
		合計	146	18	0	5	配布数　14枚　　回収　13枚　　回答率　93%
		%	86	11	0	3	

《その他のご意見、ご要望》

・公共交通機関を利用しての予定を組まれており、なかなか家では使わせる事がないので貴重な体験だと思う。短期間の利用の中でこんな経験をさせてもらえるとは思わなかったので嬉しい。本人も利用を楽しんでいる様子である。

・参加できる方が少なく行事が実現せず残念でしたが、親子一緒に交流できる行事がまたあれば良いと思う。

・いろいろな体験をさせてもらい、すごく嬉しい。本人もとても嬉しそうに見える。

・子どもが大きくなると、なかなか一緒に出掛けることが難しくなり、困っていたがいろいろなところに連れて行っていただきありがたく思っている。

・どんぐりから帰ってきた日はいつも楽しそうで思い出し笑いをしている。宿題もどんぐりでは真面目にやっているなと思う。お出かけ、社会見学、買い物等も勉強になり良い経験をさせてもらっている。

・支援員の方には大変お世話になり感謝している。“どちらともいえない”が多くなってしまったのは支援員の方々とお出会いする機会がなく把握できていない事柄が多いからである。

・いつもお世話になり支援していただきありがたく思っている。

⇒総合的に大変良い評価を頂きありがたく思いますが、頂いたご回答からは改善箇所もあるように受け止めております。できる箇所から着実に改善していき、すべての方から十分という評価を頂戴できるよう努めて参ります。
貴重なご意見ありがとうございました。